

平成30（2018）年度

下京区運営方針

～絆，魅力，伝統を未来につなぐまち 下京～

下京子育て応援マスコット
ベビーしもんちゃん



下京区のマスコット
シモンちゃん



平成30年4月 下京区役所

はじめに

京都市制に先がけて、明治12(1879)年3月14日に誕生した下京区は、平成31(2019)年に、140周年を迎えます。

面積は、市全域の約0.8%と、行政区の中で最も小さいながら、町衆文化と住民自治の伝統を受け継ぎ、「賑わい」、「文化」、「地域コミュニティ」という都市の魅力が凝縮されたまち、下京区。区内では23の学区ごとや、校区などの学区を越えたまちづくりが進むとともに、町内会や自治連合会などの地域の絆が今もしっかりと受け継がれています。

一方で、人口減少や少子高齢化の進展、それに伴う地域コミュニティの弱体化は、確実に進んでいます。また、異常気象による自然災害や大地震はいつ起きるかわかりません。

これら様々な課題が顕在化する中、私は、今後、これらの脅威に備える、レジリエンス(しなやかな回復力)の観点から、それぞれの地域・学区の皆様が、課題を把握され、区民の皆様力で、より良いまちづくりを進められるよう、しっかりと支援し、100年先もずっと魅力的な下京区を実現してまいります。引き続き、京都市政、下京区政への皆様の御支援、御協力をよろしくお願いいたします。



下京区長 安河内 博

目次

1	平成30年度取組方針	2
2	総括表(重点取組一覧)	3
3	「下京区基本計画」に基づく着実なまちづくり	4
4	区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算	10
5	より一層信頼される区役所づくりのために	11

【下京区運営方針とは】

下京区では、平成23年4月に区民の皆様とともに策定しました「下京区基本計画」を推進するため、年度ごとに重点的に取り組む施策・事業の方針・内容と区役所改革の取組などを掲げた「下京区運営方針」を策定し、区民の皆様にお知らせしています。

1 平成 30 年度の取組方針

平成 30 年度は、次の 4 つの方針の下、区民の皆様とともに、「住んでよし」「働いてよし」「訪れてよし」のまちづくりを実現します。

① 区民・地域ぐるみのまちづくりの促進

あらゆる世代の区民が、「下京区に住んでよかった」と実感し、「住み続けたい」「次世代にも住んでほしい」と思えるよう、区民・地域が主体の「子育て支援・健康長寿・安心安全」で「顔の見える」まちづくりを促進します。

② 個性を活かした魅力あるまちづくりの推進

長い歴史とそれに培われた文化・宗教・産業資源に加え、京都駅西部エリアでは、京都水族館や京都鉄道博物館といった賑わい施設があり、今後、31 年春に JR 新駅が、32 年度中に市中央市場「賑わいゾーン」開業が予定されています。また、京都駅東部エリアでは、35 年度に市立芸大移転が予定されており、それに先立って、2 月に移転予定地に常設型屋台「崇仁新町」が、3 月には元崇仁小学校に若手作家を支援するギャラリーがオープンしました。

このように、これからますますそれぞれの地域の魅力が増す下京区において、文化を基軸として、個性を活かした賑わいを創出し、まちの魅力を高めます。

③ 未来につながるまちづくりの支援

それぞれの地域が、それぞれの課題を「みんなごと」として把握し、みんなの力でより良いまちづくりを進められるよう支援するとともに、31 年 3 月 14 日から始まる「下京区 140 周年記念事業」を通して、先人が築いてきた、「絆」「魅力」「伝統」を未来へつなぎます。

④ 区役所職員によるプロジェクトチーム

区長を先頭に、区役所職員全員が「伝える力」「聴く力」を磨き、サービス向上に取り組むとともに、効率的な業務の遂行により、職場・家庭・地域で輝けるよう、「働き方改革」を実行するため、プロジェクトチームを立ち上げます。

2 総括表（重点取組一覧）

テーマ	基本方針	重点取組名	目標	所属等
テーマⅠ 人と人との絆をつなぐ(人をつなぐ)				
基本方針 I-① 健やかな暮らしを地域力で育もう				
	1	地域ぐるみの子育て支援	・「下京子育て応援情報」ウェブサイトの活用 ・下京たんぼぼ広場の開催(年2回) ・下京赤ちゃんねつと事業の実施 など	保健福祉センター (子どもはぐくみ室・健康長寿推進課)
	2	「健康長寿のまち・下京」の推進	・「下京健康ビンゴ」等健康づくりへの機運醸成や啓発事業の実施 ・地域の健康課題の共有や課題解決 など	保健福祉センター (健康長寿推進課)
基本方針 I-② 近所のお付き合いで安心を支えよう／I-③ 地域力を生かして安全を高めよう				
	3	安心安全なまちづくり	・「下京防犯の日(毎月14日)」を中心とした安心安全の啓発活動 ・避難所の開設・運営をテーマにしたリーダーズ研修の実施 など	地域力推進室
	4	不良な生活環境の解消	・ごみ屋敷の解消	地域力推進室、保健福祉センター
テーマⅡ まちの魅力や資源をつなぐ(空間をつなぐ)				
基本方針 II-① まちの活力を高めよう／II-② まちの個性を生かし魅力を高めよう				
	5	明治150年記念事業の実施	・まち歩きイベントの実施	地域力推進室
	6	まちづくり委員会の設立支援	・学区におけるまちづくり委員会の設立	地域力推進室、保健福祉センター
	7	優良な民泊の普及支援	・訪日外国人啓発マナー向上啓発活動の実施や優良な事業者の情報提供	地域力推進室
	8	京都駅西部エリアの活性化	・区民と企業との協働によるまちづくりを進め、更なる賑わいと回遊性のある地域の実現	地域力推進室
	9	京都駅東部エリアのまちづくりの推進	・京都駅東部エリアの将来構想策定に向け、連携・協力し、地域を活性化	地域力推進室
	10	「下京・京都駅前サマーフェスタ2018」の支援	・各学区や事業者等と連携し、まちの賑わいづくりを進める	地域力推進室
テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ(時をつなぐ)				
基本方針 III-② 担い手の育ちを支えよう				
	11	下京区140周年記念事業の実施	・機運の醸成やPR ・キックオフイベント(平成31年3月14日)の実施	地域力推進室
	12	第2期下京区基本計画に関する区民アンケートの実施	・区民アンケートの実施	地域力推進室
	13	「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施	・「明治150年」関連事業への支援	地域力推進室
	14	「下京アフターアワーズ」の実施	・年2回の実施	地域力推進室

3 「下京区基本計画」に基づく着実なまちづくり

テーマ1 人と人との絆をつなぐ（人をつなぐ）

基本方針 I-①

健やかな暮らしを地域力で育もう

重点取組1 地域ぐるみの子育て支援

子どもを地域や社会の宝として大切に育む、京都ならではの「はぐくみ文化」を伝承・創造するため、子どもの総合支援窓口の機能を活かして、地域ぐるみの子育て支援の環境づくりを推進し、子育て家庭の孤立化や児童虐待などの未然防止を図ります。

30年度は、専門職によるアウトリーチ（積極的に地域に出向いて区民に寄り添う）型支援を推進するとともに、29年度に開設した、地域の身近な子育てに関する情報を発信する「下京子育て応援情報」ウェブサイト積極的に活用し、より一層、支援の充実を図ります。

<主な取組>

・「下京子育て応援情報」ウェブサイトの活用

30年3月に開設した、地域の身近な子育てに関する情報を発信するウェブサイトを活用した支援



ウェブサイトのQRコード

・親子で遊ぼう！下京たんぽぽ広場

乳幼児とその保護者を対象に、ふれあいと交流の場を提供し、子育てに役立つ情報を届ける（年2回・元安寧小学校で開催）



・下京赤ちゃんねっと事業

主任児童委員等による孤立防止のための訪問指導

・親子で楽しむ健康教室（出前教室）など



重点取組2 「健康長寿のまち・下京」の推進

あらゆる世代の区民一人ひとりが健康づくりに主体的に取り組む機運を醸成し、地域や関係機関との連携のもと、地域包括ケアシステムを構築し、専門職によるアウトリーチ型支援を推進することにより、地域の顔の見える関係づくりや絆を深め、「地域共生社会（※）」の実現を目指します。

30年度は、広く区民の健康づくりへの関心を高めるため、29年度からビンゴゲーム形式で実施した「下京健康ビンゴ」を継続・充実して実施するなど、機運醸成や啓発の取組を行います。また、区民の自主的な健康づくり活動の輪が広がるよう、健康づくりに取り組む団体への支援を行うとともに、健康教室の実施などにより、地域の健康課題を区民や関係機関とも共有し、課題解決に向け、支援の充実を図ります。

※高齢者・障害のある方や子どもを含むあらゆる市民がお互いに支え合いながら暮らす社会

<主な取組>

・「下京健康ビンゴ」の実施 **充実**



←29年度実施した際の
ビンゴカード

・啓発・発信プロジェクト **新規**

「健康長寿のまち・下京」の機運醸成のため、啓発事業を実施

・アウトリーチ型支援事業

出前健康教室、イベントなどでの保健指導や子育て相談、食育文化の推進等

・健康づくりに取り組む団体等の支援

下京歩歩（ぽっぽ）塾への支援、健康づくりサポーター（しもけんズ）養成講座・活動支援等



骨密度・血管年齢の出張測定



下京歩歩塾での筋力測定

基本方針 I-②	近所のお付き合いで安心を支えよう
基本方針 I-③	地域力を生かして安全を高めよう

重点取組3 安心安全なまちづくり

各学区の自主的な安心・安全に関するまちづくり活動や防災訓練への支援を行うとともに、「世界一安心安全・おもてなしのまち京都 下京区推進協議会」が策定した「下京区運動プログラム（具体的な取組の指針）」（平成 28～32 年）に基づき、「誰もが安心して過ごせる、やさしさあふれるおもてなしのまち下京区」を目指し、様々な啓発活動を行うことにより、安心安全への機運の向上を図ります。

30 年度は、下京区推進協議会に、犯罪の被害者になりやすい高齢者と関係の深い団体（下京区社会福祉協議会、下京民生児童委員会、下京区シルバークラブ連合会）に、委員として参画していただき、共に、犯罪防止・抑止に取り組みます。

また、31 年 3 月 14 日の「下京区防犯の日」は、下京区 140 周年記念事業のキックオフイベントとタイアップして、更なる「オール下京」で「犯罪のないまち下京区」を目指します。

更に、新たな取組として、学区の防災リーダーを対象に、避難所の開設・運営をテーマにした研修を実施することにより、防災力アップに取り組みます。

<主な取組>

- ・世界一安心安全・おもてなしのまち京都 市民ぐるみ推進運動支援事業 **充実**
31 年 3 月 14 日の「下京区防犯の日（毎月 14 日）」は、下京区 140 周年記念事業のキックオフイベントとタイアップして実施
- ・下京区安心安全ネット継続応援事業
安心安全なまちづくり活動に必要な事業費用に対して補助（学区単位）
- ・学区防災力アップ リーダーズ研修（仮称） **新規**
など

重点取組4 不良な生活環境の解消

いわゆる「ごみ屋敷」などの地域課題の解消を進めるため、地域あんしん支援員や、地域、関係機関と連携しながら、対象者に寄り添った支援を行うことを基本に、不良な生活環境の解消を図ります。

テーマII まちの魅力や資源をつなぐ（空間をつなぐ）

基本方針Ⅱ-①	まちの活力を高めよう
基本方針Ⅰ-②	まちの個性を生かし魅力を高めよう

重点取組5 明治150年記念事業の実施 新規

地域の歴史を学んで、過去の偉業の足跡を振り返り、楽しく健康になることを目的に、明治期に建築された区内の近代建築物を巡るまち歩きイベントを実施します。

重点取組6 まちづくり委員会の設立支援 新規

29年度から3年間かけて防災対策に取り組んでいる、有隣学区及び菊浜学区のまちづくり委員会への支援を継続して行います。

30年度は、SDGs（持続可能な開発目標）や、少子高齢化や大災害に備えるレジリエンスの観点を踏まえ、顔の見える関係づくりを促進し、地域の課題を地域で解決するため、新たな学区におけるまちづくり委員会の設立を支援します。

重点取組7 優良な民泊の普及支援 新規

行政区で最も旅館業法に基づく許可施設数が多い下京区（※）において、29年度に引き続き、地域、下京警察署、下京消防署、市保健福祉局とともに、「訪日外国人マナー向上啓発活動」を実施し、啓発を行うとともに、事業者と地元との協定書締結の促進や、優良な事例紹介などを通じて、安心安全で地域と調和した宿泊施設の普及を図ります。

※旅館業法に基づく許可施設件数 606件（30年3月末現在）

重点取組8 京都駅西部エリアの活性化

京都駅から西に広がる梅小路公園を中心とする京都駅西部エリアは、京都水族館や京都鉄道博物館による年間を通しての賑わいに加え、31年春にはJR山陰線（嵯峨野線）の京都～丹波口間の新駅が、また、32年度中に市中央市場「賑わいゾーン」の開業が予定されており、まちの様子が大きく変わろうとしています。

30年度も引き続き、「京都・梅小路みんながつながるプロジェクト」や「京都駅西部エリアまちづくり協議会」と連携し、区民と企業との協働によるまちづくりを進め、更なる賑わいの創出と回遊性の向上を目指します。

重点取組 9 京都駅東部エリアのまちづくりの推進

35年度の市立芸術大学の崇仁地域への移転の機運を高めるため、地域が進めるエリアマネジメントが円滑に進むよう支援します。

30年度は、地域の方や学識経験者等で構成する検討委員会が設置され、京都駅東部エリアの将来構想が策定される予定であり、区役所も連携・協力して、地域の活性化を支援します。

重点取組 10 「下京・京都駅前サマーフェスタ 2018」の支援

企業や歴史資源の集積する下京区ならではの取組として、まちの賑わいづくりに資することを目的に、京都駅ビル開発株式会社、西本願寺、東本願寺、地域と連携し、夏祭りを開催します。

テーマⅢ 歴史と伝統を未来へつなぐ（時をつなぐ）

基本方針Ⅲ-②

担い手の育ちを支えよう

重点取組 11 下京区140周年記念事業の実施 **新規**

下京区は明治12（1879）年3月14日に誕生し、平成31（2019）年に140周年を迎えます。

この記念すべき年を契機として、多くの区民の皆様と共に地域が抱える課題を乗り越え、町衆の良き伝統や地域コミュニティを次世代の子どもたちに引き継ぎ、より一層魅力あふれる下京区を実現するため、下京区140周年記念事業実行委員会の下、記念事業を実施します。

30年度は、あらゆる機会をとらえて機運の向上を図るとともに、31年3月14日に、キックオフイベントを実施します。

重点取組 12 第2期下京区基本計画に関する区民アンケートの実施 **新規**

区民が主役の「第2期下京区基本計画（2011～2020）」の推進に向け、様々な分野でまちづくりに関わる方々から、幅広く意見をいただき、区政に反映するため、「下京区民まちづくり会議」を開催します。

30年度は、計画の総括として、多くの区民の方々の実感や意見をお聞きするため、区民アンケートを実施します。

重点取組 13 「区民が主役のまちづくりサポート事業」の実施

下京区内における自発的、主体的なまちづくり活動を支援します。

30年度は、だれもが分かりやすく、申請しやすい制度となるよう、対象事業の枠や補助率等を見直します。また、全市的に推進する「明治150年・京都のキセキ・プロジェクト」(※)に関連する活動は、審査において、加点の対象とします。

※明治150年・京都のキセキ・プロジェクト（ポータルサイトからの引用）

150年前（1868年）、我が国は明治に改元し、近代国家への歩みを踏み出しました。

しかし、京都は明治維新で都の地位を失い、人口の3分の1が減少するなど、大きな危機に直面。「京都はいずれキツネやタヌキのすみかになる」といわれたそうです。

この困難に私たちの先人は立ち向かいました。「まちづくりは人づくりから」と、全国に先駆けて小学校を創設するとともに、琵琶湖疏水の建設、日本初の水力発電所の営業や芸術大学の開校、工業高校の開校、電車事業の開始など、先進的な取組に挑戦し、今日の発展の礎を築きました。明治元年から150年の節目（平成30年）を迎える今、改めて、明治期に京都で行われたこと、私たちの先人が行ったこと、その誇りをみんなでいま一度共有し、今と未来に活かしたい。そんなプロジェクトです。

重点取組 14 「下京アフターアワーズ」の実施

参加者が、まちづくりや起業へのアイデアを得て、下京区で活躍したいと思っただけきっかけとなるよう、地域の魅力を活かして活動するゲストによるトークセッションや、ゲストと参加者、参加者同士の交流会を実施します。

4 区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算

本市では、平成 24 年度に、京都ならではの地域力を活かした協働型のまちづくりを推進するため、「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」を創設し、区民が主役のまちづくりを推進しています。

平成 30 年度の下京区役所の予算は次表のとおりです。

※「3「下京区基本計画」に基づく着実なまちづくり」の事業は、この表以外の予算も含んでいます。

種類	事業名 ※（ ）内は重点取組名	予算額
区民提案型事業	区民が主役のまちづくりサポート事業	769万5千円
	下京区安心安全ネット継続応援事業 (安心安全なまちづくり)	60万円
共汗型事業	下京のはぐくみ文化発信事業 (地域ぐるみの子育て支援)	70万円
	健康長寿のまち・下京の推進	75万円
	安心安全のまちづくりの推進 (安心安全なまちづくり)	30万円
	下京区明治 150 年記念事業	80万円
	地域コミュニティ活性化事業 (まちづくり委員会の設立支援) (優良な民泊の普及支援)	73万円
	下京区民ふれあい事業	310万円
	下京・京都駅前サマーフェスタ	50万円
	下京区 140 周年記念事業	100万円
	下京アフターアワーズ	50万円
	下京区民まちづくり会議 (第 2 期下京区基本計画に関する区民アンケートの実施)	70万円
合計		1,737万5千円

5 より一層信頼される区役所づくりのために

(1) コンプライアンスの徹底

職員に、より一層、公務員倫理及び法令遵守の周知徹底を図るとともに、組織・制度の改正についても、窓口などで十分に説明を行い、区民の皆さんの理解を得られるよう努めてまいります。

(2) 市民サービスの向上

サービスの状況を確認し、市民の目線に立ったきめ細かな対応を心掛けます。また、課題とされる点について改善策を図り、実施することで、更なるサービスの向上に取り組みます。

常に分かりやすい庁舎案内表示に努めるとともに、職員の「伝える力」「聴く力」を磨き、情報を迅速に分かりやすく伝えます。

(3) 庁内プロジェクトチームの設置

若手職員を中心として「働き方改革」及び「伝える力」「聴く力」の2つの庁内プロジェクトチームを立ち上げます。

「働き方改革」チームでは、効率的な事務の遂行や仕事をスムーズに行ううえでの工夫などを検討し、その提案を実施し、その経験や結果を各所属にフィードバックする仕組みづくりに取り組みます。また、「伝える力」「聴く力」チームでは、さらに多くの区民に閲覧してもらえるよう、「下京区役所ウェブサイト」の内容の充実を検討します。